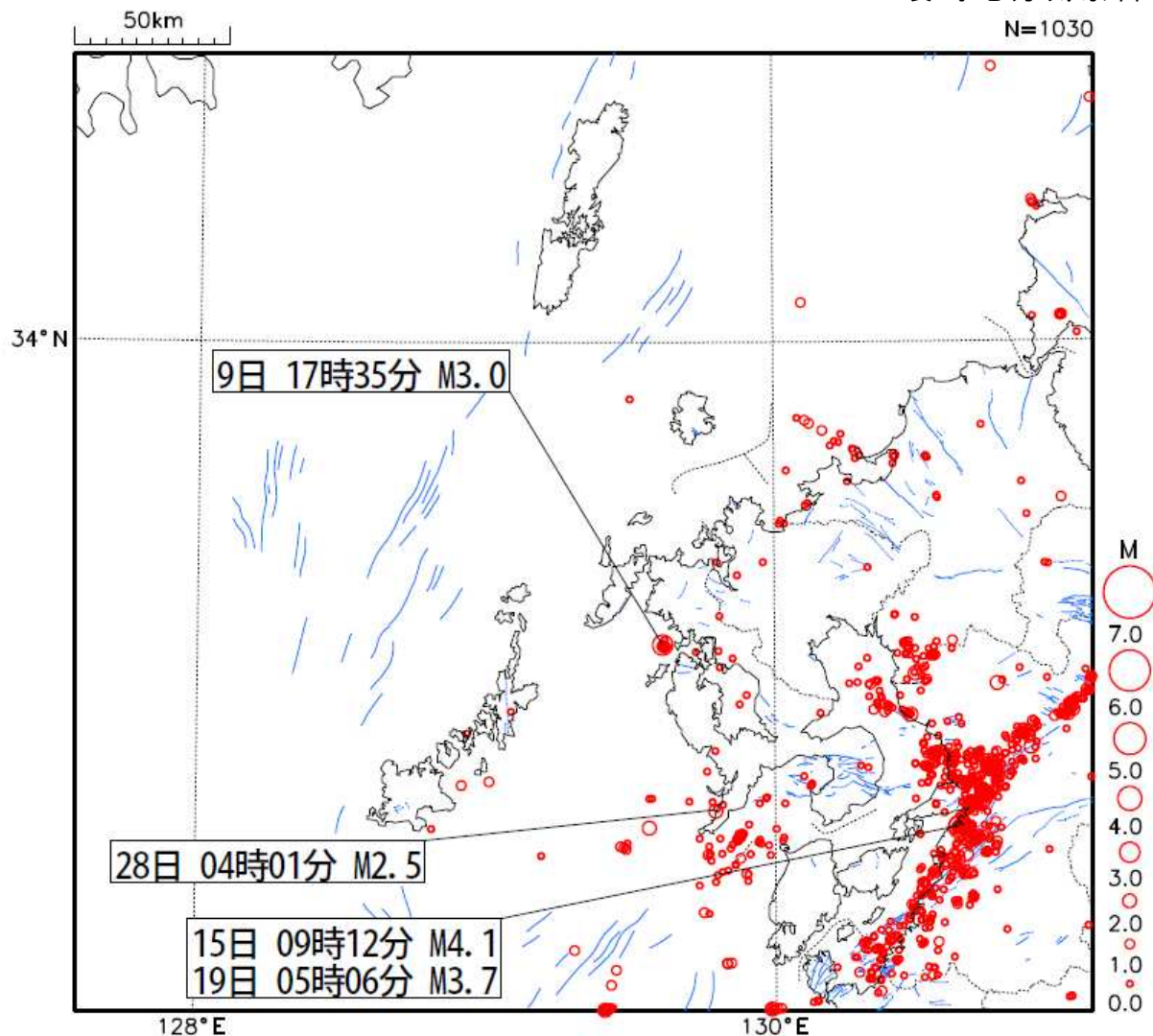


長崎県の地震活動概況 (2018 年 10 月)

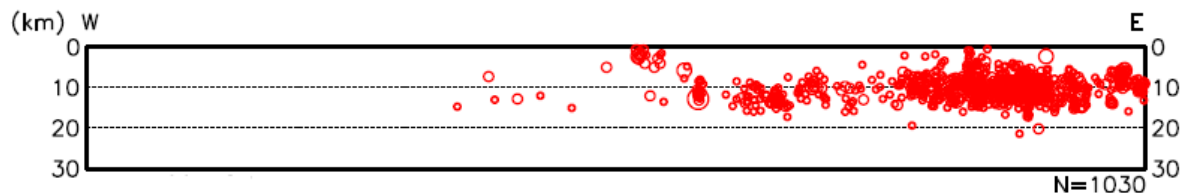
平成 30 年 11 月 9 日

長崎地方気象台

N=1030



震央分布図 (2018 年 10 月 1 日 ~ 31 日、深さ 30km 以浅)



断面図 (2018 年 10 月 1 日 ~ 31 日、深さ 30 km 以浅)
(震央分布図を南の方から見た断面図です)

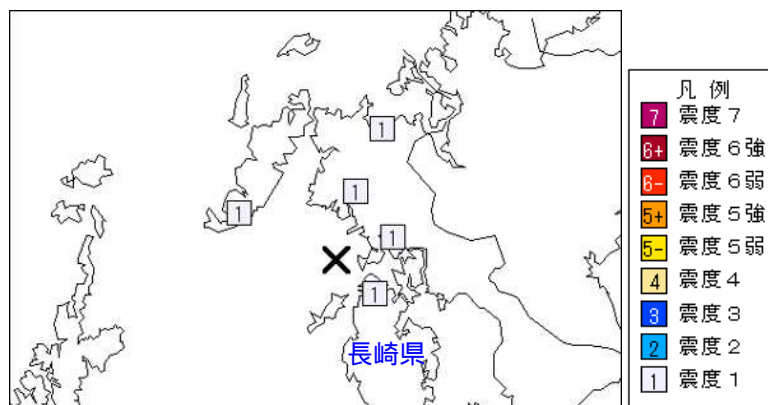
地震活動の概況 (2018 年 10 月)

10 月に長崎県内で震度 1 以上を観測した地震は 4 回でした (9 月 : 2 回) 。
詳細は次頁以降のとおりです。

本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す (活断層のデータは新編日本の活断層による) 。
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座) 、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

五島列島近海

9日17時35分に五島列島近海で発生したM3.0の地震(深さ13km)により、長崎県の佐世保市、平戸市、松浦市、西海市及び佐々町で震度1を観測しました(図1、表1)。今回の地震の震源付近(図2領域a)で発生した地震により、長崎県内で震度1以上を観測したのは、2018年8月25日に発生したM2.7の地震(深さ12km、最大震度1、平戸市、松浦市で震度1)以来です(図2、図3)。



10月9日 17時35分 M3.0
図1 震度分布図(観測点別、×:震央)

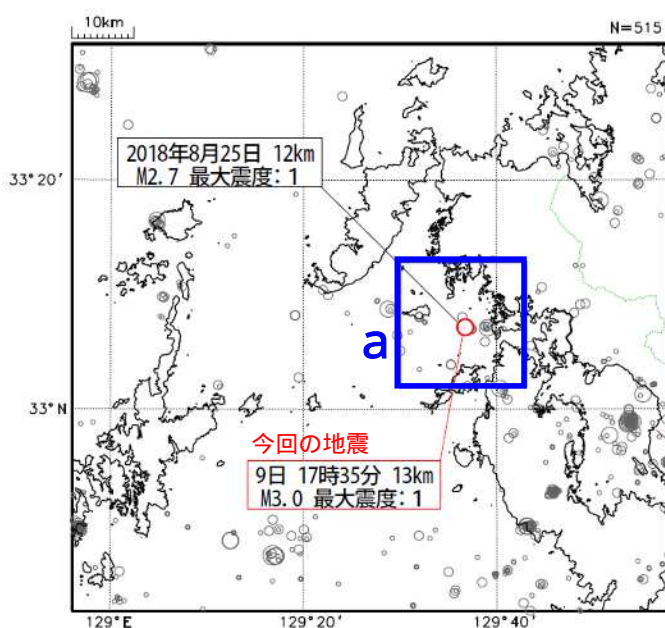


図2 震央分布図

(1997年10月1日~2018年10月31日 深さ0km~30km M 1.5)
2018年10月の地震を赤で表示

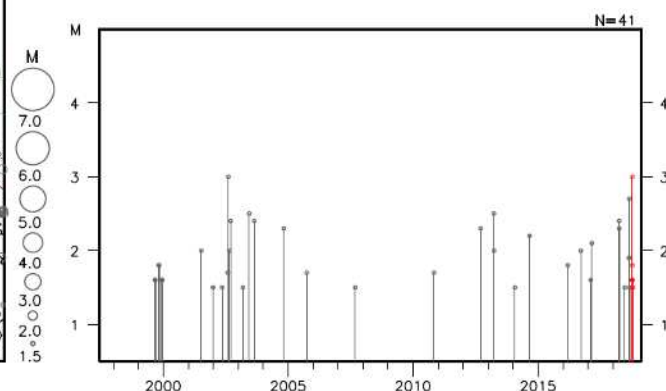


図3 図2領域a内の地震活動経過図

表1 この地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 1	2018年10月9日17時35分 五島列島近海	33°07.1' N 129°36.7' E 13km M3.0
長崎県	1 佐世保市干尽町 平戸市志々伎町* 松浦市志佐町* 佐々町本田原* 西海市西海町*	

注1) 震源要素(緯度・経度・深さ・M)は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。
注2) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の活動域における地震の発生状況

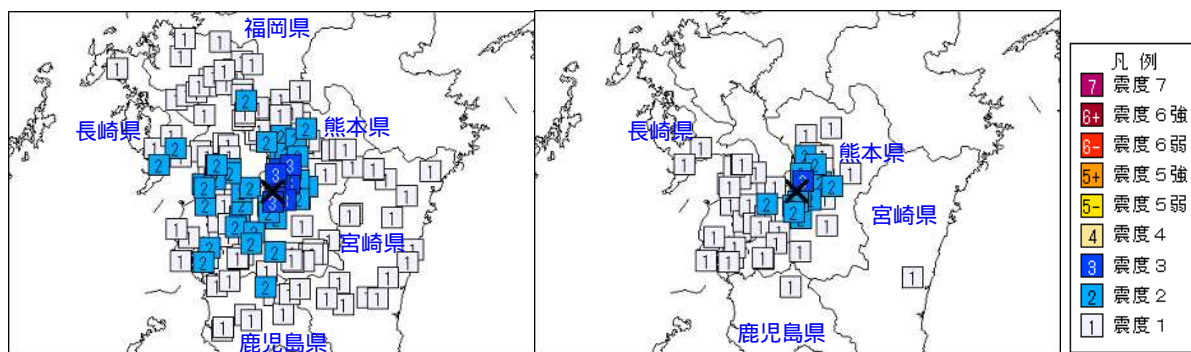
熊本県熊本地方

15 日 09 時 12 分に熊本県熊本地方で M4.1 の地震（深さ 11km）が発生しました。この地震により、熊本県で震度 3 を観測したほか、熊本県を中心に九州地方で震度 2 ～ 1 を観測しました。長崎県では長崎市、諫早市、雲仙市及び南島原市で震度 2、佐世保市、大村市、島原市及び時津町で震度 1 を観測しました。また、ほぼ同じ場所で 19 日 05 時 06 分に M3.7 の地震（深さ 11km）が発生しました。この地震により、熊本県で震度 3 を観測したほか、長崎県、宮崎県、鹿児島県で震度 1 を観測しました。長崎県では、長崎市、諫早市、雲仙市及び南島原市で震度 1 を観測しました（図 4、表 2）。

地震調査研究推進本部によると、熊本県熊本地方(図 5 領域 b)及び阿蘇地方における「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続しており、現状程度の地震活動は当分の間続くとも評価されています（図 5、図 6）。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」に関しては、以下の気象庁ホームページを参照ください。
気象庁（熊本地震特設ページ）

http://www.jma.go.jp/jma/menu/h28_kumamoto_jishin_menu.html



10月15日 09時12分 M4.1 10月19日 05時06分 M3.7
図 4 震度分布図（観測点別、×：震央）

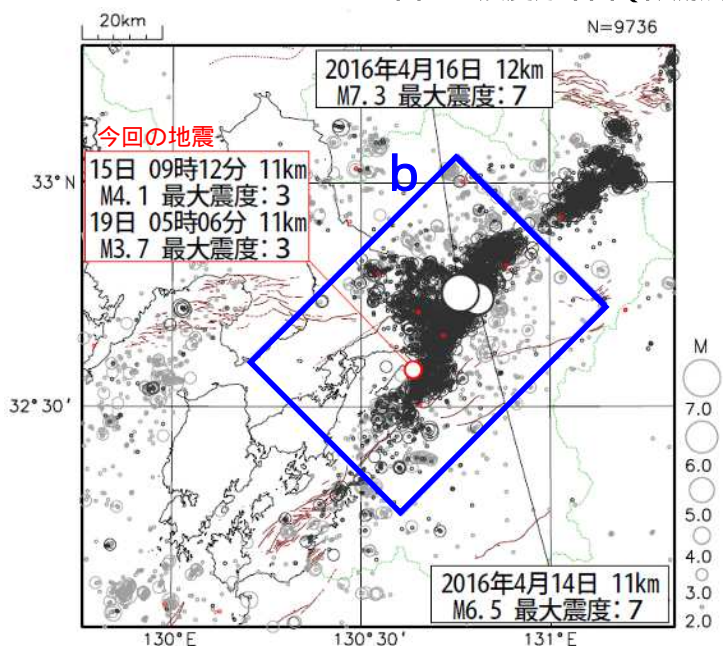


図 5 震央分布図

（1997 年 10 月 1 日～2018 年 10 月 31 日 深さ 0 km～20km M 2.0）
2016 年 4 月 14 日以降の地震を黒で、2018 年 10 月の地震を赤で表示
図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

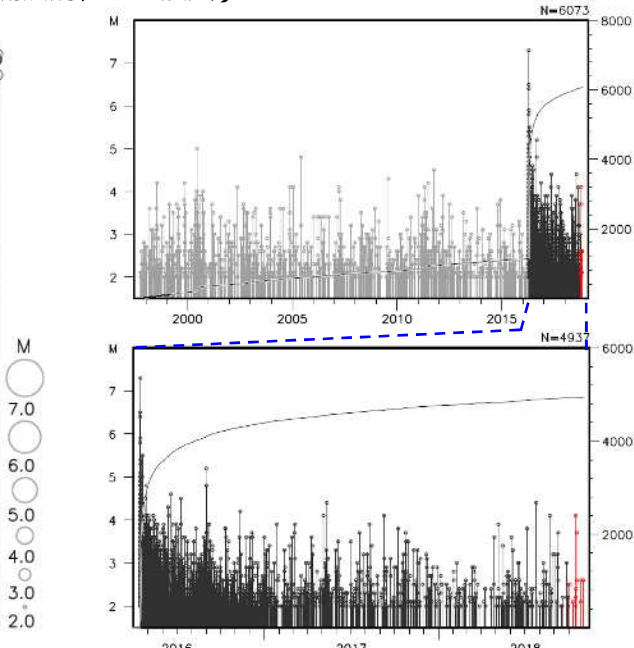


図 6 図 5 領域 b 内の地震活動経過図及び回数積算図
（上段：1997 年 10 月 1 日～2018 年 10 月 31 日、
下段：2016 年 4 月 14 日～2018 年 10 月 31 日）

表2 これらの地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 2	2018年10月15日09時12分 熊本県熊本地方 32° 34.9' N 130° 38.2' E 11km M4.1	
長崎県	2	長崎市元町* 諫早市多良見町* 雲仙市小浜町雲仙 雲仙市雲仙出張所* 南島原市口之津町* 南島原市北有馬町* 南島原市布津町* 南島原市深江町* 南島原市加津佐町*
	1	佐世保市鹿町町* 諫早市飯盛町* 大村市玖島* 時津町浦* 島原市下折橋町* 島原市有明町* 雲仙市国見町 雲仙市千々石町* 雲仙市愛野町* 雲仙市小浜町北本町* 南島原市南有馬町* 南島原市西有家町* 南島原市有家町*
No. 3	2018年10月19日05時06分 熊本県熊本地方 32° 35.1' N 130° 37.8' E 11km M3.7	
長崎県	1	長崎市元町* 諫早市多良見町* 雲仙市小浜町雲仙 雲仙市雲仙出張所* 雲仙市小浜町北本町* 南島原市口之津町* 南島原市北有馬町* 南島原市布津町* 南島原市加津佐町*

注3) 震源要素(緯度・経度・深さ・M)は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注4) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

五島列島近海

28日04時01分に五島列島近海で発生したM2.5の地震(深さ11km)により、長崎県長崎市で震度1を観測しました(図7、表3)。今回の地震の震源付近(図8領域c)で発生した地震により、長崎県内で震度1以上を観測したのは、2015年8月28日に発生したM2.5の地震(深さ12km、最大震度1、長崎市で震度1)以来です(図8、図9)。



10月28日 04時01分 M2.5
 図7 震度分布図(観測点別、x:震央)

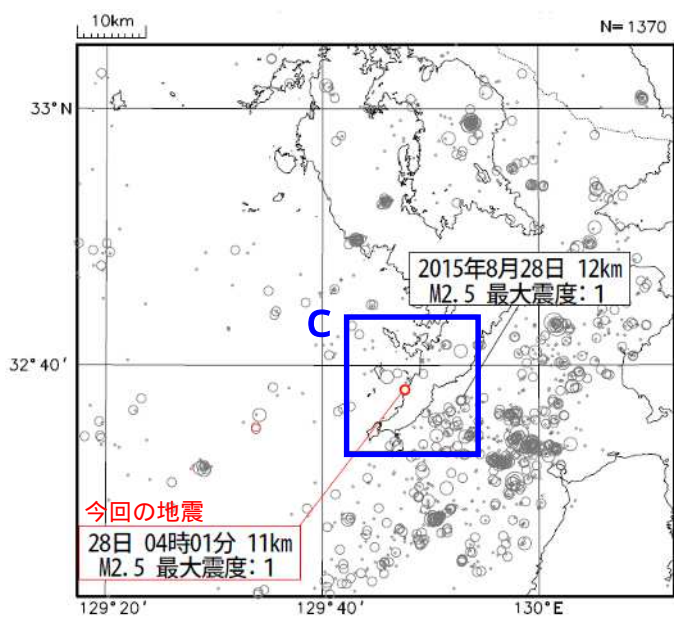


図8 震央分布図

(1997年10月1日~2018年10月31日 深さ0km~30km M 1.5)
 2018年10月の地震を赤で表示

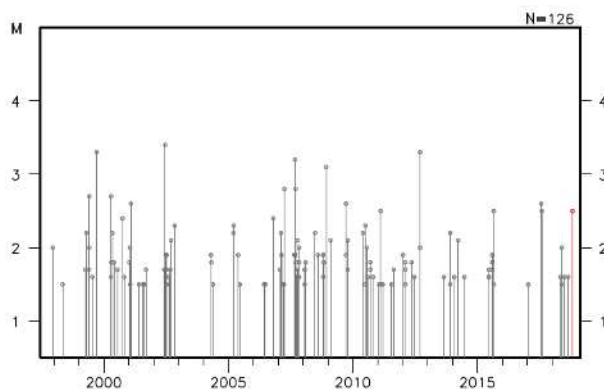


図9 図8領域c内の地震活動経過図

表3 この地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 4	2018年10月28日04時01分	五島列島近海	32° 38.0' N	129° 47.6' E	11km	M2.5
長崎県	1	長崎市元町* 長崎市野母町*				

注5) 震源要素(緯度・経度・深さ・M)は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注6) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

地震の名称について

気象庁では、顕著な災害を起こした自然現象について名称を定めることとしています。名称を定めることにより、防災関係機関等による災害発生後の応急・復旧活動の円滑化を図るとともに、当該災害における経験や貴重な教訓を後世に伝承することを期待するものです。

これまでは「命名」としていましたが、今年（2018年）7月から「名称を定めること」と改めました。また、各地域で独自に定められた災害やそれをもたらした自然現象の名称についても、後世への伝承の観点から利用し、普及を図ることとしています。

地震については、以下の基準で名称を定めます。

（名称を定める基準）

1．地震の規模が大きい場合

陸域：M7.0以上（深さ100km以浅）かつ最大震度5強以上

海域：M7.5以上（深さ100km以浅）であり、かつ最大震度5強以上または津波の高さ2m以上

2．顕著な被害が発生した場合（全壊家屋100棟程度以上の家屋被害、相当の人的被害など）

3．群発地震で被害が大きかった場合等

（名称の付け方）

原則として、「元号年＋地震情報に用いる地域名＋地震」とする。

ただし、次の点に留意する。

- ・定めた名称は、一連の地震活動全体を指すものとする。
- ・上の基準を満たす地震が複数発生した場合には、原則として一連の地震活動が始まった時点の元号年を用いる。

近年、気象庁が名称を定めた地震は下表のとおりです。最近では、2018年9月6日から始まる北海道胆振地方中東部を中心とした一連の地震活動について、「平成30年北海道胆振東部地震」と名称を定めました。

（近年に気象庁が名称を定めた地震）

名 称	一連の地震活動が始まった日	主な被害 (被害は総務省消防庁による)
平成16年(2004年)新潟県中越地震	2004年10月23日	死者68人
平成19年(2007年)能登半島地震	2007年3月25日	死者1人
平成19年(2007年)新潟県中越沖地震	2007年7月16日	死者15人
平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震	2008年6月14日	死者17人、行方不明6人
平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震	2011年3月11日	死者19,667人、行方不明2,566人 平成30年9月7日現在
平成28年(2016年)熊本地震	2016年4月14日	死者272人 平成30年10月15日現在
平成30年北海道胆振東部地震	2018年9月6日	死者41人 平成30年10月29日現在

気象庁が名称を定めたその他の地震については、気象庁HPをご覧ください。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/meishou/meishou_ichiran.html